令和2年度　江戸川区立松江第四中学校　学校関係者評価　報告書

学校教育目標	よく考えて自らすすんで学ぶ 体験を通して豊かな心を育む 健康でたくましく生き抜く	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	生徒の希望や夢を育む学校 よく学び　心ゆたかに　たくましく 授業改善に努め、学びを継続し、人権を尊重し、人間性を高められる教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	＜成果＞ 「主体的・対話的で深い学び」への授業改善へ計画的に取り組んだ。 ＜課題＞ 学力向上に向けた全校体制での取り組み		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	月一回の定期的な連絡・情報交換	実施率90％以上 児童生徒情報の共有	B	C	●今年度はコロナ対応のため定期的な情報交換ができなかった	B	今後も連携を充実して欲しい	オンラインでの会議の実施
	ICTを活用した授業の推進	ICTを活用した協働学習等の授業の充実、プロジェクターの活用	研修会…3回 研究授業…1回	研修の成果を授業で活用する	A	B	○研修会を3回実施、研究授業を1回実施した	B	今後も効果的な使用法で指導して欲しい	機器の使用法の研修
教員の資質向上	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施 によるICTを活用した教員の授業力の	研修会…3回 研究授業…1回	ICT活用授業一人年間30回以上	A	B	○研修会を実施し教員の指導力と意識が向上した	B	指導の成果が出るのを期待している	授業実践例の報告と共有
	特別支援教育の推進	校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実	校内研修…年3回以上	校内研修実施	B	A	○毎週校内委員会を実施し報告、対応を協議した	B	一人一人を大切に支援していって欲しい	支援委員会の更なる充実と連携
	特別な教科道徳の指導力向上	道徳地区公開授業や研究授業を通した指導力の向上	校内研修…年2回以上	校内研修実施、生徒アンケート充実度80％	B	B	○研修会を実施し、指導力の向上に努めた	B	指導を積み重ね道徳観を育てて欲しい	個々の指導力の向上
いきいきと学ぶ教育の充実	確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	マイトレノートの実施 放課後学習時間（松四タイム）の実施	提出率90％ 年間50回実施	A	B	○提出率90％達成 ●コロナ対応のため実施回数は達成できなかった	A	新たな取り組みに今後も期待しています	実施内容の充実
	読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実 ・読書科ノートの活用など、探究活動、探究的な学びの充実 ・学校図書館を使った授業の充実	読書科による活用…各学年5～10回 生徒が自らテーマを設定する	活用率80％以上 1年ポスター 2年ブックカバー 3年卒業制作	A	A	○毎日の朝読書や、各学年ごとに探究的な学習を行ったことで、考えを理論的にまとめ、思考力、表現力が向上した	A	毎年素晴らしい作品が多く楽しみにしてます	教科において横断的に取り組み効果の向上を図る
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	毎時間の補強運動の実施	補強運動の習慣化	B	B	○補強運動を強化し、体力の向上に努めた	B	オリンピック実施が楽しみです	継続して習慣化させる
	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	国際理解のレポート作成 講演会の実施	一人一レポートの作成 伝統文化への理解	A	A	○オリパラオペラ講演会の実施、レポートの提出	B	オリンピックパラリンピックで多くのことを学んでほしい	継続した指導で効果を高める
	外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	毎回ALTとの会話を設定 会話力の向上	毎時間実施	A	A	毎回ALTとの会話を実施、会話力の向上に努めた	A	今後もグローバルな社会の担い手を育成して欲しい	学校全体として横断的な取り組み
	健全育成に向けた取組の強化	いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実 チルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用	家庭連絡の徹底 アンケートによる把握	出席0の生徒をなくし早期対応で不登校20人以下	B	C	○生徒への支援や家庭連絡を丁寧に行った ●不登校生徒20人以下を達成できなかった	B	今後も生徒や家庭への支援を続けていって欲しい	不登校生徒対応への組織の再編成効果的な指導の実施